

環境省北海道環境パートナーシップオフィス

パブリックコメント・ワークショップ
開催ガイドライン

Ver.3



パブリックコメントとは…

- 意見公募手続（Public Comment）
- 行政が法令や計画等を制定するに当たって、事前に案を示し、その案について広く市民から意見や情報を募集するものです。
- 市民が政策に関わることが担保された、重要な機会です。



ワークショップの考え方

- 自分一人で内容を読み解き、意見を整理し、提案することはとても難しいことです。
- そこでこのワークショップでは、関心を持つ市民が集まり、紙面への書き込みや対話を通じて、内容を読み解き、自分の意見を整理し、一人ひとりが政策に提案できるようになることを目指します。
- 全体で意見を統一、提案するものではありません。他の人の意見に耳を傾けて、あなたの意見を形づくる参考にしてください。



ワークショップの進め方

紙面への書き込みや対話を通じて、参加者同士でコミュニケーションをとりながら進めていきます。

※以下は基本的な時間配分です

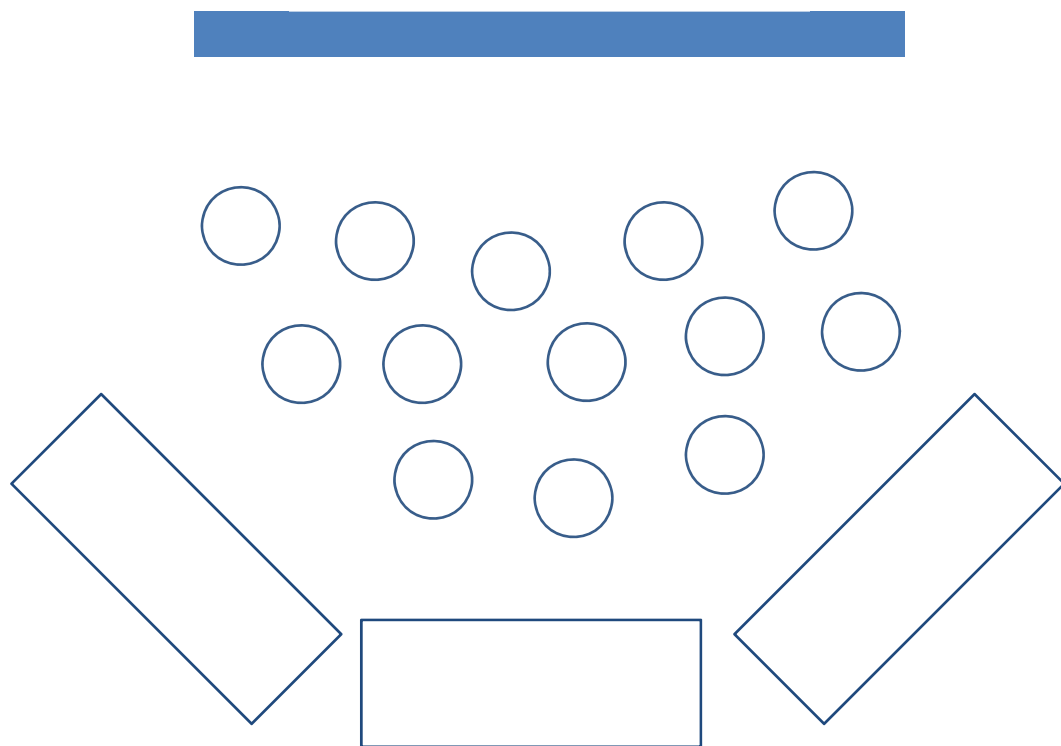
- | | |
|-------------------|-----------|
| (1) 趣旨説明 | (5分) |
| (2) 参加者自己紹介 | (30秒×人数) |
| (3) パブリックコメント対象確認 | (20分) |
| (4) ギャラリーセッション | (3~5分×頁数) |
| (5) ポイント共有／ふりかえり | (30分) |

※翌日、WSで述べられた意見を速報としてウェブ上で共有



会場の配置

(前方)
ホワイトボード等



① 準備・開始時

ホワイトボード等の前に椅子を用意。会場後方に立ち回れるスペースを設け、机を配置。机の上にA3判に拡大印刷した書類を貼付する。



② ギャラリーセッション

ワークショップの枠組みを共有した後、席を離れ、一人で考えたり参加者と対話したりしながら、書類に意見や疑問を書き込んでいく。特に注目した箇所に印をつける。



③ 全体での共有・ふりかえり

特に印をつけた箇所については、各参加者から説明を行う。